

女子大学生の排便およびその日間変動 第2報 排便量に関する要因

坂田由紀子*^{サカタ ユキコ} 新保慎一郎*^{シンボシイチロウ}

目的 第1報において我々は食生活、身体状況が排便回数や排便量に影響することを報告し、その詳細な検討には時系列的解析が必要であることを述べた。

今回は前報に次いで排便についての時系列的解析を行い、排便量と摂取栄養素や摂取食品、運動量などとの相互関係、排便の日間変動に関係する要因についての検討を試みた。

方法 21～22歳健常女子4名のそれぞれ30日間連続で2回調査した8群のデータを用いた。1日の排便回数、1回の排便量、自由摂取による食事量、摂取食品等の資料をもとに、測定量の規格化をおこなった。すなわち、各時系列間の比較は、群毎に計測値を平均値からの差として表し、振幅で規格化した相対量を用いた。自己相関係数、各系列間の相互相関、成分周期から時系列の性質を検討した。

結果 データの時系列的解析から各データ群の排便量には、3～4日の周期で日間変動があり、各変動の相同性の高い領域は、相関係数0.7以上であった。

排便量と運動量、食事摂取量との関係は、前前日の「食物総量」が高い相関を示し、ついで「総食物繊維量」、「水分総量」の順であった。「脂質摂取量」、「歩数」の相関は低値であった。

食品群別摂取量の比較では、「野菜類」、「果実類」、「穀類」、「いも及びでん粉類」の順に相関を示した。

Key words : 女子大学生, 時系列, 相関, 排便の日間変動, 排便に関連する要因

* 京都女子大学家政学
連絡先: 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町
35 京都女子大学 衛生第2研 坂田由紀子